



はなっ通信

たいぶさ 大房岬の近況報告



タイマイ浜の様子。この時期は特に多くの方が訪れます。

太陽の光を浴びることで骨の形成を促進したり、体内のリズムが整ったりと、身体に良いことがたくさんあります。それに加えてぜひ、「外で遊ぶことはとっても楽しいということ」、「エアコンの風よりも外の風や海の水の冷たさの方が気持ちが良いということ」をまずは多くの子どもたちに感じてほしいと思います。この夏も、ぜひ大房岬へお越しください♪



日を追うごとに暑くなり、夏がすぐ目の前に近づいていますね。大房岬では毎日セミの大合唱が聞こえてきてとてもにぎやかです。そんな大房岬ですが、実は涼スポットとしてもお勧めです。海で泳ぐことはできませんが、磯場で生き物を探したり、波打ち際でびちゃびちゃと足を冷やしたり、木陰でのんびり風にあたるのは心にも身体にも優しくとても心地の良いものです。

夏休み、せっかく良いお天気なのに、クーラーをきかせた家にこもってゲーム三昧…という子どもも年々増えているように思いますが、それではあまりにももったいありません。

所長の目線

アメリカ合衆国のワシントン州、ほぼカナダとの国境に位置するバーチベイという海沿いの町を訪れました。一昨年訪日した際にホームステイで受け入れた友人夫婦の自宅に4日間家族で滞在しました。広大な牧草地の真ん中にある彼らの自宅には、キジやシカが毎朝顔を見せます。日本とは異なる広大な国土と雄大な自然環境には目を見張るばかりでした。

仕事柄、異なる国の自然環境や動植物の生態に興味があるのはもちろんですが、今回学びが多かったのは、彼らの人生観や家族観、宗教観、学校教育を垣間見る機会を得た時でした。ちょうどキリスト教の感謝祭だったこともあり、町の人通りも多く、家には多くの家族親戚が集まり、互いの近況を語りにぎやかに過ごします。そして高齢のご両親をとにかく労り敬う姿が印象的でした。また、地元小学校の授業参観をする機会にも恵まれました。教師たちが、子ども達の集中力を保ち、ひきつける話術やテクニックは素晴らしかったです。行く先々でもてなしてくれた異国の友人たちに感謝です。



●休所日情報● 7月～9月の休所日は次の通りです。

7月15日(金)、16日(土)、17日(日)、8月31日(水)

9月1日(木)、2日(金)、24日(土)



イベント報告

豆っこひろば

今回の豆っこひろばのテーマは「春の自然」です。普段何気なく見ている生き物たちを、じっくり時間をかけて見てみました。タンポポの花を虫眼鏡で観察したり、ミミズやアリのおうちをみつけてみたり、身近な生き物たちの新しい発見がありました。これからもっとたくさんの生き物たちと出会える季節になります。是非大房の森にまた遊びに来てください。白井(ねぎ)



岬の楽校

今年度最初の岬の楽校は、春の大運動会！悪天候だったため体育館での活動になりましたが、みんな大盛り上がりでした。初めはギクシャクしていた子どもたちでしたが、リレー、キャップ集め競争、玉入れなどの競技をやっていくうちに、ああでもないこうでもない作戦会議をしたり、応援をし合うようになりました。わずか5時間程度の活動時間でしたが、子どもたちの著しい成長を見ることができました。今後も岬の楽校にご注目ください！花嶋(ぽによ)



磯の生き物発見ツアー

南房総の海は、暖かい黒潮の影響により、温帯域に見られる生き物だけではなく、南方系の生き物も観察できます。そんな豊かな海で、海の面白さを実感し、生き物達に触れてもらう事業です。たくさんの方に参加していただき、たくさんの生き物達に出会いました。実際に触れてみて感触を感じたり、生息環境をのぞいて、暮らしが観察できました。何より、実際に海を体感するという大切さを知ってもらえたのではないのでしょうか。香山(かやまん)



お知らせ 大房★夏の恒例イベント 星空ナイトシアター

大房岬自然公園内運動園地で野外シアターを設置します。ロマンチックな夜をお過ごしください♪
日時：8月13日(土) 18:30受付 19:30開始 参加費：1人500円 ※要予約

その他にも大人の方・ご家族向けプログラムなど様々なイベントを予定しています。
詳しくは大房岬自然の家HP、チラシ等をご覧ください☆ ご予約、お問い合わせは下記まで♪

イベント用 facebook ページ開設しました！⇒ 「南房総で自然体験 野遊び倶楽部」

南房総自然体験

facebook ページで

検索



【発行元】南房総市大房岬自然の家(所長 神保 清司)

(指定管理者) NPO 法人千葉自然学校
〒299-2404 南房総市富浦町多田良 1212-23
メール: taibusamisaki@chiba-ns.net

電話: 0470-33-4561 FAX: 0470-33-4564
ホームページ: <http://taibusa.jp/>

プログラム紹介★鉄板パエリアとスープ作り★

夏だ！海だ！パエリアだぁ！スペインの郷土料理パエリアを魚介やスパイスを加え本格的に仕上げます。パエリア作りの醍醐味はなんといってもその豪快さ！巨大な鉄板の上で一気にお米を炒め上げる作業はやりごたえ十分！野外の解放感と異国の香りに包まれ、みんなで協力して作った達成感がパエリアを何倍もおいしくすること間違いなし！この夏は大房でいつもとは一味違ったアウトドアクッキングをしませんか？

Let's cooking!



まきを組んで火を起こします。
火加減はとっても大切！



お米と具材をしっかり炒めます

ファイアー！

お米に火が通るまで蒸したら…
パエリアのできあがり！



ごはんのはなし

●○● ハーブで夏を乗り切ろう！ ●○●



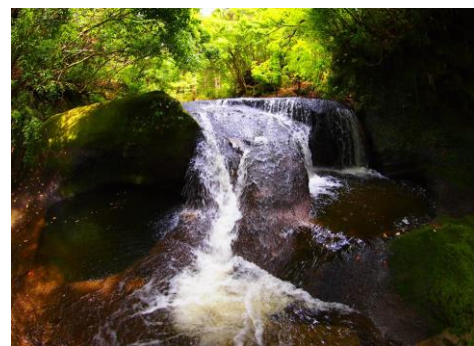
徐々に気温が上がり、夏が近づいてきますね。これからの季節はしっかりご飯を食べてスタミナをつけたいところですが、「暑くて食欲が出ない」という人も多いと思います。そんなときは「ハーブの力」に頼ってみませんか？ハーブには食欲増進、消化促進の効果があるものが多く、これからの季節の食事にピッタリです。ハーブと聞くとバジルやセージなど西洋のイメージが強いですが、日本のネギやシソ、ショウガなど香りの強い野菜もハーブの一種です。これらの野菜は、夏によく食べられるそうめんや冷奴の薬味として使われていますね。彩りや食中毒予防など色々と理由がありますが食欲増進もその一つと言われています。

大房食堂でもネギやショウガを使ったメニューを提供しています。暑い夏こそたくさんご飯を食べて元気に活動して欲しい。そんな願いを込めて今日も食堂では一生懸命ご飯を作っています。山崎（だいすけ）

野遊び日和 シャワーウォーキング



シャワーウォーキングって？聞き慣れない言葉ですが、簡単に言うと川や沢を歩くことです。房総半島には高い山はないので、急峻な沢はありませんが、その分、穏やかに楽しく沢を楽しめます。美しい溪相を楽しみながら突き進んでいきます。ところどころ遊びどころもあります。房総の沢の川床は泥岩質な所が多く、ナメ床(舗装された地面のように平らな川床)が形成されています。ナメ床とそこを穏やかに流れる水流、そして、周りの木々



とのコントラストは格別です。ポットホール(浸食作用で川床にあいた穴)へ飛び込んだり、ナメ滝(一枚岩のように滑らかな滝)で滑ったりできるところや、房総特有の川廻し(トンネルで河道を変えている地形)もあり、見どころも満載ですよ。香山（かやまん）

みなみぼうそう 南房総の匠に聴く vol. ⑩「千倉オレンジ村 オートキャンプ場」



野宮 勉さん
野宮 千明さん

Q オレンジ村はどんなところですか

昭和31年からみかん農園（野宮農園）を始めたのがきっかけです。当時はみかんなどの農産物の値段も高かったのですが、徐々に値段が下がっていき、25年前から始めたのがみかん狩り体験です。更に山の斜面を活用して、20年ほど前からキャンプ場を整備し始めました。現在はバンガロー8棟、テントサイト100張程の施設になっています。

Q オレンジ村の魅力を教えてください

みかん農場にできなかった斜面を平らにしてテントサイトを作っています。景色のよいところ、落ち着いた森の中、風の影響を受けにくいところ、人が集中しない静かなところなど、あらゆるニーズにこたえられるようバリエーション豊富で、また来くなるようなテントサイトが魅力の一つです。

更にバンガローはこの土地の杉を加工して造っていますので、暖かみがありとても丈夫です。山の素材を十分に生かしたバンガローになっています。

Q 今後のオレンジ村について教えてください

まだまだ開拓したい場所がたくさんあります。山の奥に行けば樹齢150年を超える巨木があり、そこを新しいテントサイトにしようと考えています。また、車の行き来もスムーズになるよう道幅を広げていきたいです。

更には、田んぼや畑もあるので、農作物の収穫体験など、来たお客さんに自然を満喫してもらえるような、プログラムも行っていきたいと考えています。体験農場も整備していく予定です。

来ていただいた方に喜ばれるような施設づくりや、体験プログラムを実施していきたいと思っています。

活動についての詳細はお問い合わせください

千倉オレンジ村 オートキャンプ場

連絡先（電話）0470-44-0780

たいぶさ樹木ずかん

ヌルデ
(ウルシ科ヌルデ属)



樹高7mほどになる落葉高木。7～8月に円錐状の白い花を咲かせます。樹液はウルシのように塗料として使用されていますが、触れるとかぶれることがあります。ウルシやヌルデは「奇数羽状複葉」という葉のつくりになっていて、写真に写っている部分全体が一枚の葉として数えられます。葉の中央には翼(よく)と呼ばれる葉の名残がついているのが特徴です。触れなければかぶれることはないで、そんな少し変わった葉のつくりを楽しんでみてください。

場所：自然公園入口、ビジターセンター付近など

スタッフのつぶやき

テーマ

「子どもの頃一番頑張った夏休みの宿題！」

自由研究ならぬ自由工作。作った物は忘れましたが、はまってました。香山（かやまん）

中1徹夜の交通安全ポスターです。最終日のため込むくせは未だ治らず…柴山（モニカ）

3年連続ウミホテルを研究。最後の日の夜中2時までやったのを覚えています…白井（ねぎ）

巨大な工作を作り過ぎて、登校途中に大崩壊したことがありました……。神保（じん）

母親の厳しい指導のもと泣きながら習字。その分入選した時は嬉しかったなあ。花嶋（ぼによ）

夏休みの宿題・宿題・宿題……。そうか、一度もやらなかった。松田（料理長）

中学生の時に英語で日記を書きました。賞を受賞したことは今でも自慢です。山崎（だいすけ）